

刊行にあたって

古くから、人々は川の流れとともに暮らし、川は私達の暮らしにさまざまな恩恵をもたらしてきました。しかし、近年、水辺環境の変化とともに、川で遊ぶ術を知らない子どもたちが増え、水に対する気づきや関心を育む機会が失われつつあります。

福岡県内には、河川やため池などの水辺が各地にみられ、生き物たちが多様な生態系をつくり出しています。

健全な水循環を回復し、美しい水辺環境を保全することにより、多様な生物との共存を図っていくことが、今私たちに求められています。

このような認識のもと、県では身近な水辺の生き物を通して河川の水質を評価する方法を紹介した「生き物からみた福岡県の河川」や「川の生き物観察ガイドブック—続・生き物からみた福岡県の河川—」を作成し、多くの県民の方々に、川に親しみ、河川環境を考える際の資料として活用いただいています。

このたび、「川の生き物観察ガイドブック」の続編として、増補改訂版を刊行することとしました。本書では、水辺の生き物を中心として、希少生物の紹介、水生生物調査法などを掲載しています。生き物の写真を増やし、希少種は現在のレッドリストを反映させるなど、わかりやすく、最新の内容となるよう努めました。

本冊子を多くの皆さんに活用していただくことで、さらに河川への関心が高まり、水辺環境保全の輪が広がっていくことを期待しています。

平成20年3月

福岡県知事 麻生 渡



目次

この冊子を利用させていただくにあたって	1
福岡県の河川で見られる生き物	3
カゲロウ目	3
トンボ目	10
カワゲラ目	15
カメムシ目	18
アミメカゲロウ目	20
トビケラ目	21
コウチュウ目	28
ハエ目	33
昆虫以外の生き物	37
福岡県の河川で見られる希少な生き物	47
福岡県の河川で見られる外来種	49
川の生き物を調べてみよう	50
調査に必要な道具	50
調査に適した場所	50
調査に適した季節	51
生き物による河川水質評価の方法	51
生き物を持ち帰って調べるには	56
川の生き物を飼育するには	58
福岡県の河川で見られる生き物リスト	59

